

## ねらい

## 取り組み

## 成果・課題

### 家庭教育を支援する！ ～家庭の教育力を高める～

#### <家庭教育>

家族のふれ合いを通して子供の生きる力を育むこと

#### ☞保護者の学びの支援

家庭で子どもを育て、教育できる力をつける事を支えるため、妊娠期からの情報提供・学びの場の提供

#### ☞子育ての悩みを自由に語り合える学びの場づくり

同じようなことで悩んでいる人と話し合い、自ら考えることで、多様な考え、気づきを得る助けとなる

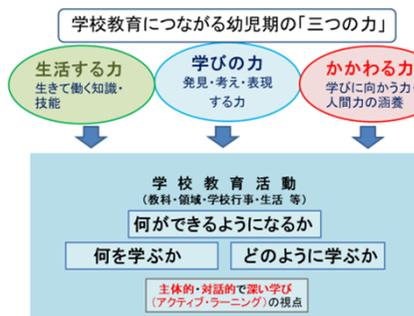
#### <背景>

社会的要因・変化に伴う家庭教育力の低下

### <小学校入学前家庭教育講座>

入学前の保護者を対象に、学校生活や入学までに身につけておきたい生活習慣と一緒に考え学ぶ講座

#### ○内容(例)



#### 遊びを通して育つ学びの芽 ～ものを転がして遊ぶことを楽しむ～



試す・発見・観察・かかわる・話す(表現)等  
遊びや経験の中に「生きる力」の基礎

#### <北部小の事例(一部)>

### <家庭教育講演会>

- 脳科学者・川島隆太教授による、脳科学から見た「子ども達の心身の発達や必要な生活習慣について」保護者にわかりやすく伝える講座(毎年)
- 併せて、妊娠期から幼児家庭教育パンフレットの配布や幼稚園・保育園等でパートナー講座を開催

#### ○パートナー講座(例)

#### 子どものやる気は 正しい生活のリズムから

早く起きる  
↓  
太陽の光を浴びる  
↓  
たくさんおかずのある朝食を食べる  
↓  
しっかり排泄  
体を動かす



#### 前向きな脳

#### 人間らしさを 生み出すところ

- \*やる気・集中力
- \*自発性
- \*コミュニケーション力
- \*思考力・想像力
- \*記憶力
- \*がまんする力

### <実績>

- 小学校入学前家庭教育学級講座(R3) 2回開催・動画配信(YouTube)
- 家庭教育講演会(R4) 川島隆太(東北大学加齢医学研究所所長) 2/19小金原地区開催予定(根本内小ほか)
- 松戸版幼児家庭教育パンフレット「まつどっ子 未来のために今」 市内産婦人科・小児科で配布(医師会の協力・173所)母子手帳交付時に配布(母子保健担当室との連携) ※このほか講座や小学校等で広く配布
- パートナー講座(R元実績) 開催回数42回 参加者数1,541人 幼稚園・保育園、おやこDE広場、小学校家庭教育学級、小学生(6年生)など



幼児家庭教育の支援

幼保小の連携

### ☞幼児教育と小学校教育の学びをつなぎます！

幼児期の終わりまでに育って欲しい  
《10の姿》



#### <幼稚園教育要領>

### 研究指定校

北部小

松飛台小

小金小

#### ○3つの学習タイムで日課を構成

- ・全教科を3つのタイムに統合し、短時間学習・合同学習を行う。
- ・1時間(45分間)に段階的に慣れさせる。(15分⇒30分⇒45分)



#### ○複数教員での対応

- ・担任+副担任(小学校派遣スタッフ・校務)
- ・副担任は、週ごとにローテーションを組み、1ヶ月で全学級を回る。
- ・基本的に担任は、子どもたちの活動の指示を出し、副担任は授業にT2として入ったり、給食指導、下校指導、その他事務的内容(提出書類のチェック等)を行う。

#### 2年生との交流(学校たんけん)

2年生が1年生に学校を案内



#### 校内授業研究会 1年(がっこう だいすき だいさくせん)



#### 【成果】

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた、スタートカリキュラムの実施
- コロナウイルス感染症対策を講じた、可能な限りの実施
- 系統性を意識し、2年生や6年生との交流からの学びを年長児との関わりへ
- 「コミュニケーション能力」、「課題設定能力」の向上

#### 【課題】

- 新型コロナウイルス感染症により、直接的な交流の機会の減少
- 幼稚園・保育園・保育所との密な情報交換、連携体制の充実
- 地域の中の子どもの育成という観点から、地域への情報発信の充実